

## RCHR 第5回シネマde人権

話題提供: 梁 優子

(大阪市立大学 人権問題研究センター特別研究員)

無料

6月23日(土)

午後1:30~5:00

文化交流センター

(大阪駅前第二ビル6階)

大セミナー室

お問い合わせはセンターまで  
06-6605-2035  
otazune@rchr.osaka-cu.ac.jp

(監督 ヤンジヨンファン)

上映会

「大阪から来た手紙」

朝鮮半島の南にある済州島は、植民地統治の末期、日本の本土決戦に備え要塞化され、戦後は米軍政下におかれました。1948年、自らの手で社会づくりや国づくりを求めている島民たちの不満を背景に武装蜂起がうみだされます。これを、米軍政や韓国政府は弾圧し、約3万人が虐殺されました。6年6か月の間に80以上の村が焼き払われました。その後、この事件は「済州四・三事件」と呼ばれています。事件の後も、沈黙を強いられ、2000年に「四・三特別法」が制定されました。1980年代から、日本において真相究明の運動が行われてきました。この映画は、事件の結果、生き延びるために日本へ「密航」した女性たちの経験や、家族離散、遺族の思いについて取り上げた作品です。今回の「シネマde人権」ではこの映画をとりあげ、「済州四・三事件」とその記憶について考えます。